

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

本大会は、2015年（公財）日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項および申し合わせ事項によって行う。

## 2. 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。砲丸投の練習については、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみとする。
- (2) 練習は、係員の指示によって行う。
- (3) スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。また、スパイクピンの本数は原則として11本以内とする。

## 3. 招集について

- (1) **招集所は、第2ゲート付近（1500mスタート地点）に設ける。**
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は次のとおりとする。

|                  | 招集開始時刻   | 招集完了時刻   |
|------------------|----------|----------|
| トラック競技（四種競技を含む）  | 競技開始30分前 | 競技開始20分前 |
| フィールド競技（四種競技を含む） | 競技開始40分前 | 競技開始30分前 |

- (3) 招集の際、全ての用紙の氏名に丸印をつけること。招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- (4) **リレーについては、予選・決勝ともにオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙は、招集所で受け取る。**
- (5) 2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に申し出る。2種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。
- (6) やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出る。

## 4. ナンバーカード（ゼッケン）について

- (1) ナンバーカードは学校名が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- (2) トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。
- (3) 男子共通3000mについては、別ナンバーカードを招集所にて受け取り、胸と背につけること。

## 5. 競技について

- (1) 競技者は、その競技をする以外は、トラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (2) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (4) 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分の割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- (5) トラック競技はすべて写真判定で行う。
- (6) **トラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名が決勝に進出することができる。その最下位で同タイム者が出たときは、以下の方法で決定する。**
  - ① 9名（リレーは9チーム）の場合は1～9レーンを使用する。
  - ② それでもレーンが不足する場合は判定写真を拡大し、細部（電気掲示2/1000秒）まで読み取って着差の判定をし、決勝進出者を9名決定する。
  - ③ それでも判定できない場合は、監督同席のもと、同タイム者または代理人によって抽選し、決勝進出者を9名決定する。**ただし、1年100m以外の低学年の部の種目、また、男女800m、男女1500m、男子3000mについては、タイムレースにより順位を決定する。**
- (7) リレー競技のマーカの使用は1カ所とする。使用したマーカはそのチームで処理する。
- (8) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。新人の部の走幅跳、三段跳、砲丸投は、試技を3回行い、トップ8決定後さらに3回の試技を行う。低学年の部の走幅跳、砲丸投の試技は3回のみとする。
- (9) 三段跳は、踏切板から砂場までの距離を9mとする。
- (10) トラック競技におけるスタートの合図は、イングリッシュ・コマンドとする。

(11) ハードル種目の規格

| 種別    | 男子     |           | 女子     |           |
|-------|--------|-----------|--------|-----------|
|       | 高さ     | ハードル間     | 高さ     | ハードル間     |
| 新人の部  | 0.914m | 9.14m(水色) | 0.762m | 8.00m(黒色) |
| 低学年の部 | 0.838m | 8.50m(黄色) | 0.762m | 8.00m(黒色) |

(12) 砲丸の重量

| 種別    | 男子        |           | 女子        |           |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|       | 中学        | 中学四種      | 中学        | 中学四種      |
| 新人の部  | 5.000 k g | 4.000 k g | 2.721 k g | 2.721 k g |
| 低学年の部 | 4.000 k g |           | 2.721 k g |           |

6. 競技場への入退場について (※陸上競技場改修中のため)

- (1) 種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳・三段跳

※ 第1コーナー付近からスタートする種目および1500m以外のトラック種目の選手は、荷物を取りにいく際、メインスタンド下通路を通り、第4ゲート後方の出入口より移動すること。

- (2) フィールド競技の出場者は、係員の指示に従って退場する。

7. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

|           |   | 練習  | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   |          |
|-----------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 走高跳       | 男 | 125 | 130 | 135 | 140 | 145 | 150 | 155 | 160 | 以後3cmごと  |
|           | 女 | 115 | 120 | 125 | 130 | 135 | 140 | 143 | 146 | 以後3cmごと  |
| 四種<br>走高跳 | 男 | 120 | 125 | 128 | 131 | 134 | 137 | 140 | 143 | 以後3cmごと  |
|           | 女 | 110 | 115 | 118 | 121 | 124 | 127 | 130 | 133 | 以後3cmごと  |
| 棒高跳       |   |     | 200 | 210 | 220 | 230 | 240 | 250 | 260 | 以後10cmごと |

- (2) 第1位決定のために行うバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

8. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のポールを招集所で検査を受け、合格したものだけに使用が認められる。
- (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではならない。

9. 表彰について

- (1) 各種目の表彰は1～3位まで行う。
- (2) 総合の表彰は、総合得点順で1～3位の学校に行う。なお、各種目の入賞者の得点は1位8点、2位7点、3位6点、以下、5、4、3、2、1点とする。

10. 雨天練習場について

- (1) 基本的には使用しない。雨の状況により使用する際には以下の点に注意すること。
- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
  - ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
  - ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
  - ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
  - ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
  - ⑥ハードルは使用しない。

11. その他

- (1) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は、正面スタンド下の救護室に連絡すること。
- (2) 記録は南側サイドスタンド下(第1ゲート付近)に掲示する。